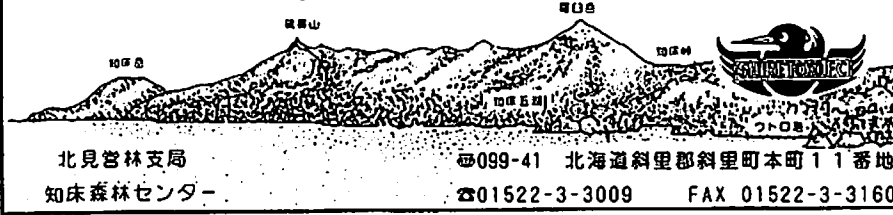


知床の森から



時空を越えた森の中、春を楽しむ

「歩くスキー・早春の知床探勝」

3月26・27の両日、第12回 森林レクを知床自然観察教育林を舞台に実施しました。低気圧の通過の影響で、26日は小雪の舞うコンディションとなりましたが、薄日の差す中、樹々の梢に降り積もった綿帽子のような雪でつくられたトンネルの中を歩き、また、27日は快晴となり、春うららかな陽気のなかで実施することができました。

参加者は、地元斜里町をはじめ遠くは留辺蘂町からも参加があり総勢45名になりました。

コースには、ハンノキ・ダケカンバ・トドマツ等いろいろな木が生育し、若い木や寿命を終え正に朽ちようとしている老木などがいりまじる林間をゆっくりしたテンポで歩いていくと、時を失い、自然の中に溶け込んでいってしまう錯覚にとらわれます。

往復7km、3時間半ほどの「歩くスキー・早春の知床探勝」でしたが、参加者の中からは、これまで各地の歩くスキーに参加してきたが、「これほど自然にあふれたコースはなかった」、「豊かな自然の中で心が洗われた」、などなどの声が聞かれました。



シリーズ 知床八景

⑧ オシンコシン展望台

国道334号線沿い、オシンコシンの滝を望む高台にある。

国道334号線の旧道時代はこの展望台が良く利用されていたが、国道のルートが今の海岸線沿いになってからは訪れる人は少ない。

眼下には、岩肌を滑るように流れおちるオシンコシンの滝と断崖絶壁の海岸線そして知床連山を眺めることができる所である。

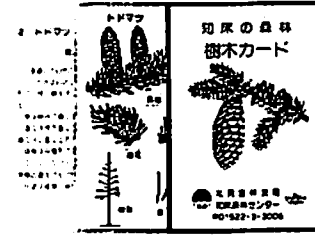
「オシンコシンの滝」の名は、この周辺の地名である「オ・シユンク・ウシ・イ（そこへ

知床の森林の 樹木カード できる

「知床自然観察教育林」をベースにして、この周辺にみることのできる樹木をカードに収めてみました。

林内を歩くとき、手にしながら観察できるようにと、名刺を少し大きくしたサイズとし水をはしく紙質を用いております。

49種の樹木を収めてありますが、樹木の特徴、見分けるポイント等をイラスト化し、



説明文を加えてあります。このイラストは当センター職員が描いたものですが、日頃山を歩き、木々を良く見ている者ならではの観察眼で描かれていると自負しています。これから行う森林浴・森林教室等に利用していただこうと考えています。

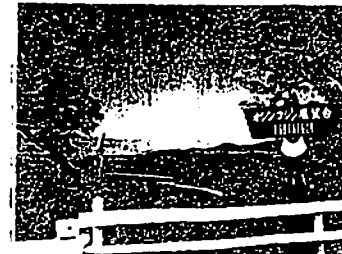
今 知床森林センターは！

＝森林浴・森林教室の内容充実に向けて＝

当センターが行っています森林浴等は、これ迄は知床国立公園内が主でしたが、今後斜里町周辺の国有林においても行うことになりました。

これ迄の知床国立公園内における原生的自然の観察など自然の山とのふれあいに加え、本年度からは、今山造りを進めている地域でもあり、斜里町の産業及び生活と密接なつながりをもつ里山でも取り組むこととなりました。潮の害・風の害から地域の産業を、そして生活を守るために造成された防風林や、木材を供給すると共に水の源ともなっている斜里の山々が新たに加わった地域です。造成過程の森林や、海浜植物を豊富に見ることのできる海岸林もあり、森林教室や森林浴にと手軽に利用していただける森林です。

これ迄の原生的自然とは趣の異なった里山を歩くことの楽しさを味わっていただけるようなコース・内容にしていきたいと考えております。



➔「エゾマツが生い茂る所」からつけられた。

以前は、一条の流れであったが、過去の大雨により姿がかわり二条の流れになった。このため「双美の滝」の別名がつけられている。

職員着任のお知らせ：4月1日付けをもって、業務係長に 志村 英男 氏が着任いたしました。前任者同様ご指導ご支援の程お願い致します。